

国語

一般選抜 学力試験 2 科目型入試前期/大学入学共通テスト併用型入試 1 期

(総評)

国語入試では、次の力を確認する。

- ・高等学校で履修した国語科目について、基礎的知識を有しているか。
- ・高等学校で履修した国語科目について、修得した基礎的知識を応用する力を有しているか。
- ・情報を読み解き、理解した内容を他者に分かりやすく表現できるか。

そのための問題として、読解問題を二題、知識問題を一題出題している。読解問題では、論説文を通して、「本文の説明を正確に理解する能力」、「具体と抽象の関係、原因と結果の関係などをおさえながら理解する能力」、「議論の展開をおさえながら理解する能力」、「文章から情報を読み解き、理解した内容を他者に説明する能力」などを測る。また、知識問題では、読解を行うにあたって必要になる語彙力を測る問題を出題している。

(出題分野・テーマ)

【大問一】

喜志哲雄著『喜劇の手法 笑いのしくみを探る』より出題している。喜劇について、誰もが喜劇として認める作品を取り上げながら、その手法や喜劇的効果について具体的に取り上げている。「喜劇」の効果に関する語句に注意して具体例と結び付けて読解すること、接続語の選択・本文情報の正誤・抜き出しや空欄補充・用語の意味などの基礎知識を踏まえて読解すること、を確認する問題を出題している。

【大問二】

野内良三著『日本語作文術——伝わる文章を書くために』より出題している。文章は説明的文章で、平易な語句が使用されている。具体事例を用いた説明であり、その例を適切に理解する必要がある。設問は、文章の前提となっている語句や日本語の基礎的知識について確認させる問題や、文脈を読み取り空欄を補充する問題、語句を抜き出させたり、言い換えを求めたりする問題が出題されている。また、具体例を説明にしたがって解釈する問題などで読解する能力が試されている。

【大問三】

コロケーションの一部を補充する問題である。標準的な語彙に関する出題であり、日頃から新聞や書籍の読解を行い、国語辞書等で語句の意味を確かめる習慣を身につけておくことが役に立つ。